日 立 電 気 温 水 器

HOT ACE

スタンダードマイコンタイプ
取扱説明書

8時間通電制御/時間帯別電灯型

高圧力型 ・ 2ヒーター

BE-Z37BWU
BE-Z46BWU
BE-Z56BWU

- このたびは日立電気温水器をお買い上げいただきありがとうございます。本品の機能を十分発揮させて効果的にご利用いただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになった後は、いつでも取出せるよう大切に保管してください。

高圧力型について

【高圧力型】は、労働安全衛生法施行令に定める小型ボイラーに該当します。

事業者の方が、事務所、店舗などで使用される場合は、法令の定めにより義務づけられる事項があります。
必ず販売店にお問い合わせください。

Z143618

もくじ

ご使用のまえに…

安全上のご注意 …… 1
ご使用上の注意 …… 5
電気温水器のはなし …… 6
混合栓こぼればなし …… 6

各部の名称とはたらき

台所リモコン …… 7
本体 …… 8

使用方法

温水器使用準備 …… 9
現在時刻の合わせかた …… 10
タンク沸き上げ温度を設定する …… 11
沸き増しの設定 …… 12
自動沸き増しの設定 …… 13
タンク残湯量の見方 …… 13

こんなとき

数日間お湯を使わないとき …… 14
1か月以上使用しないとき …… 15
凍結防止について …… 16
日常のお手入れと点検 …… 17
停電のとき …… 19
断水のとき …… 20
点検表示のみかたと処置 …… 20
故障かなと思ったら …… 21
こんなときは故障ではありません …… 21
仕様 …… 22
保証とアフターサービス

安全上のご注意　　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、電気温水器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害と損害を未然に防ぐために必要な重要事項です。
記載内容をよく理解し必ずお守りいただいて電気温水器を正しく安全にご使用ください。

取扱いを誤った場合に生じる危険とその程度の区分

⚠ **警告**	**誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。**
⚠ **注意**	**誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。**

本文中に使われる図記号の意味

⃠	**禁止（してはいけないこと）を示します。** **具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。**
●	**指示する行為の強制（必ずすること）を示します。** **具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。**
△	**注意を示します。** **付帯的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。**

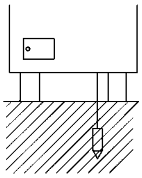
据付け後の確認

工事が適正に完了しているか、お買い上げの販売店、工事店の方とご一緒に確認してください。

⚠警告

アース工事を確認する

アース工事



- **アース工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。**

⚠注意

脚（3か所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

- **固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。**
- **温水器を 2 階以上に据付けた場合は、本体上部も固定されているか確認してください。**

防水処理・排水処理されていない床面には設置しない

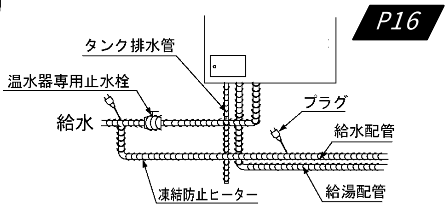
禁止

- **処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。**

配管の凍結防止対策の確認をする

確認

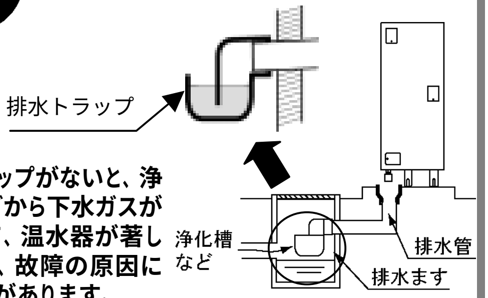
P16



- **凍結すると、タンクや配管が破裂し、やけどや水もれをすることがあります。**
- **本体内部も工事説明書どおり対策されていることを確認してください。**

排水トラップを設置する

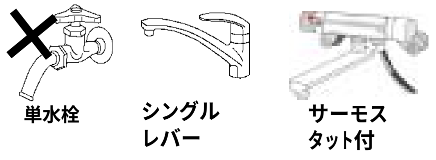
確認



排水トラップがないと、浄化槽などから下水ガスが逆流して、温水器が著しく腐食し、故障の原因になることがあります。

給水器具の仕様を確認する

確認

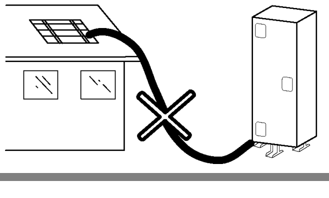


- **給水器具は、必ず逆止弁付を使用してください。**
- **シャワー用は、必ずサーモスタット式の逆止弁付湯水混合栓を使用してください。**
- **給湯専用に単水栓は使用しないでください。タンクの熱い湯がそのまま出ますので非常に危険です。**

太陽熱温水器のお湯を給水管につながない

禁止

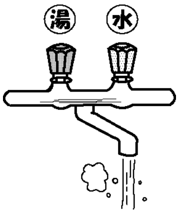
太陽熱温水器のお湯を温水器の給水管につなぐと故障の原因になります。



⚠警告

湯水混合栓は水から開く

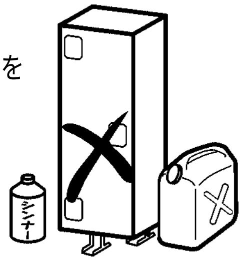
やけど注意



- **まず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開いて適温にしてください。湯栓だけを開くと熱湯が出る場合があり非常に危険です。**

温水器の近くにガス類や引火物を置かない

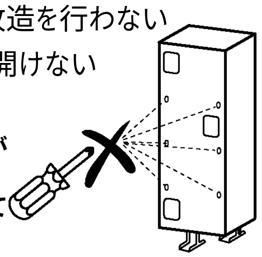
禁止



- **発火や火災になることがあります。**

分解・修理・改造を行わない 前面カバーを開けない

分解禁止



- **開けると、感電することがあります。**
- **発火したり、異常動作してけがをすることがあります。**

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器（2か所）の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する

P8

異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

タンクの湯は、熱湯のまま排水しない

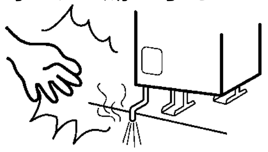
やけど注意

- **熱湯のまま排水すると、やけどをしたり、排水管などが破損することがあります。必ずタンク内を水にしてから排水してください。**

P15

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

やけど注意



- **熱いお湯が出てやけどをすることがあります。**

P15

お湯の使いはじめに注意する

やけど注意

- **朝の使いはじめは、空気の混ざった高温の湯が飛び散り、やけどをすることがあります。**

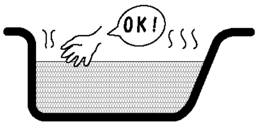
給湯時は湯水混合栓に手を触れない

やけど注意

- **湯水混合栓も熱くなりますのでやけどをすることがあります。**

浴そうの湯温を指先等で確かめてから入浴する

やけど注意



- **湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。**

シャワーや台所・洗面所でお湯を使うときは、湯温を指先等で確かめる

やけど注意

- **湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。**

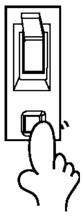
やけど注意

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

- やけどをすることがあります。

動作確認

漏電遮断器（2か所）の動作を確認する P17



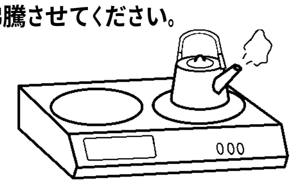
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。

必ずお守りください

⚠注意

そのまま飲用しない

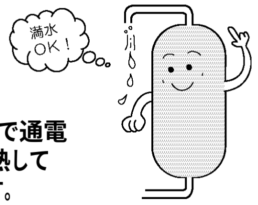
長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。



- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯がでてくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。

満水確認

通電はタンクを満水にしてから行う P9



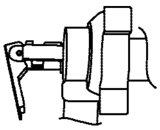
- タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

断水時は、シャワーや混合水栓を閉める。

- 開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓から湯(水)が出ます。

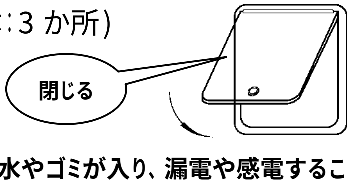
点検

逃し弁の点検をする P18



- 点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。また、水漏れにより、電気代、水道代が高くなったり、家屋などへの不具合が発生することがあります。

操作カバーは閉じる（本体：3か所） P8



- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

電源確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器（2か所）の電源スイッチを「切」にし、タンクの湯を排水をする P15

- 排水しないと水質が変化することがあります。

冬期、電源スイッチを「切」にする場合は、タンクと配管の水抜きをする P15

タンクが満水のまま電源スイッチを「切」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

積雪時には除雪をする

- 温水器の周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

禁止

機器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしない

- 事故・やけどの原因になります。

ご使用上の注意

契約している電力制度を確認する

契約している電力制度によってご利用いただけない機能があります。

深夜時間帯のご使用について

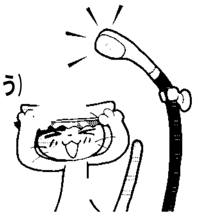
温水器は、おもに深夜時間帯（リモコンに「沸き上げ中」が表示されているとき）にお湯を沸かします。

この時間帯にお湯を使うと湯切れの原因になります。また、時間帯別電灯契約の場合、昼間に沸き増しを行い電気代が高くなることがあります。

お湯の量には限りがあります

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
お湯の使いすぎに注意してください。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- シャワーは止めながら
  （髪を洗っているときは止めましょう）
- 洗いものをするときも止めながら



時刻の確認をする

月に1度はリモコンの時刻を確認、修正してください。

時間帯別電灯契約の場合、時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため電気料金が割高になります。 P10

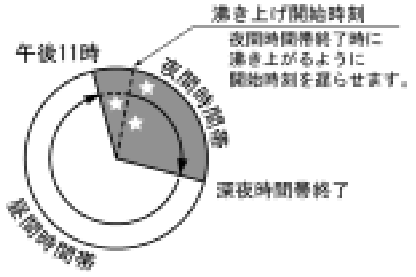
湯はりをするときのお願い

湯はりをするときは、次のことをご確認ください。

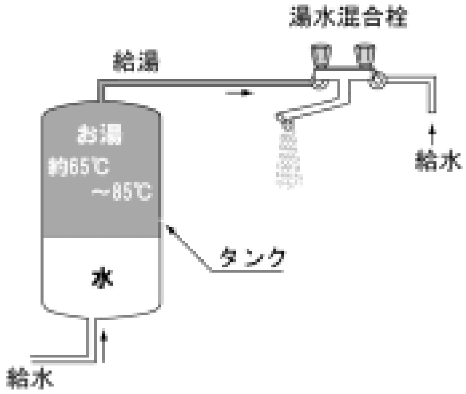
- 排水栓が閉まっていることを確認
- 湯はり温度が適温であることを確認
  まず水栓を開いてから湯栓を徐々に開いて適温にして湯はりをしてください。

電気温水器のはなし

電気温水器は、タンクに貯えた水を電気代のお得な深夜電力を利用して沸き上げ、台所や洗面所、おふろなどでお湯が使えるようにするシステムです。



電気温水器を、深夜電力を利用して快適にお使いいただくために、居住地域の電力会社と「時間帯別契約」などの契約を結んでください。契約の種類、深夜時間帯の範囲は各電力会社により異なります。



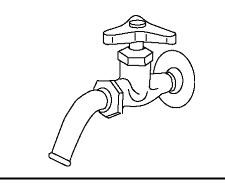
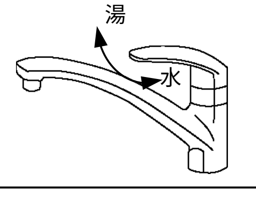
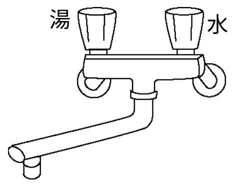
1 湯水混合栓を開いてお湯を使うと、使った分だけ自動的にタンクの下から給水します。朝はお湯で一杯だったタンクは、お湯を使うたびに水の部分が増えていきます。

2 お湯として使える量は、給湯やふろの湯はりに使うほか、放熱などにより徐々に少なくなってきます。お湯として使える量(残湯量)のめやすを台所リモコンに表示しています。残湯量がなくなることを『湯切れする』といいます。

3 タンクのお湯は、そのままでは熱いので水と混ぜて使います。ですから実際に使えるお湯の量は、およその目安としてタンク容量の 2 倍くらいになります。
（沸き上げの温度や水道水の温度によって実際に使える湯量は異なります）

混合栓　こぼればなし

電気温水器を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける湯水混合栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる湯水混合栓には下表のような種類があります。

	(単水栓)	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外　観				
概　要	お湯または水専用の水栓です。お湯の場合、タンク内の高温のお湯がそのまま出ます。	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

・シングルレバーの混合栓は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

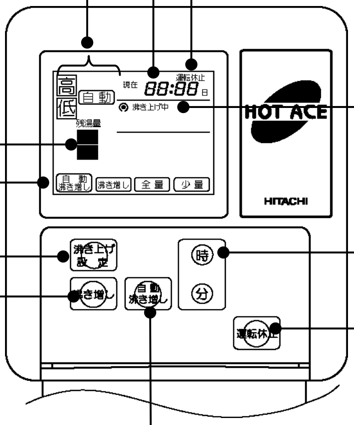
・サーモスタット付混合栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用します。お湯を直接からだや頭にかけますので、あやまって熱い湯がでると大変危険です。サーモスタット付混合栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。

■ レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

・混合栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

各部のなまえ（台所リモコン）

台所リモコン



■ 沸き上げ温度 **表示** P11

設定したタンクの沸き上げ温度により「高」「低」「自動」のいずれかを表示します。

■ タンク残湯量 **表示** P13

お湯(約 48℃以上)の量を表示します。お湯が約 75L 以下になると表示が消えます。

■ 沸き増し **設定値表示** P12 P13

「沸き増し」や「自動沸き増し」が設定されているときに表示します。

● 沸上げ温度 **設定ボタン** P11

タンクの沸上げ温度を設定します。

● 沸き増し **設定ボタン** P12

設定した日のみ、タンクの残湯量が少なくなると、沸き増しを行います。
（時間帯別契約時のみ）

■ 現在時刻 **表示** P10

通常　　　：現在時刻を表示します。
運転休止時：運転休止日数を表示します。
点検必要時：点検内容を示す記号

■ 運転休止 **表示** P14

運転休止設定時に表示します。

■ 沸き上げ中 **表示** P11 P12 P13

ヒーターに通電してお湯を沸かしているときに表示します。

● 時刻 **設定ボタン** P10

現在時刻の設定を行います。

● 運転休止 **設定ボタン** P14

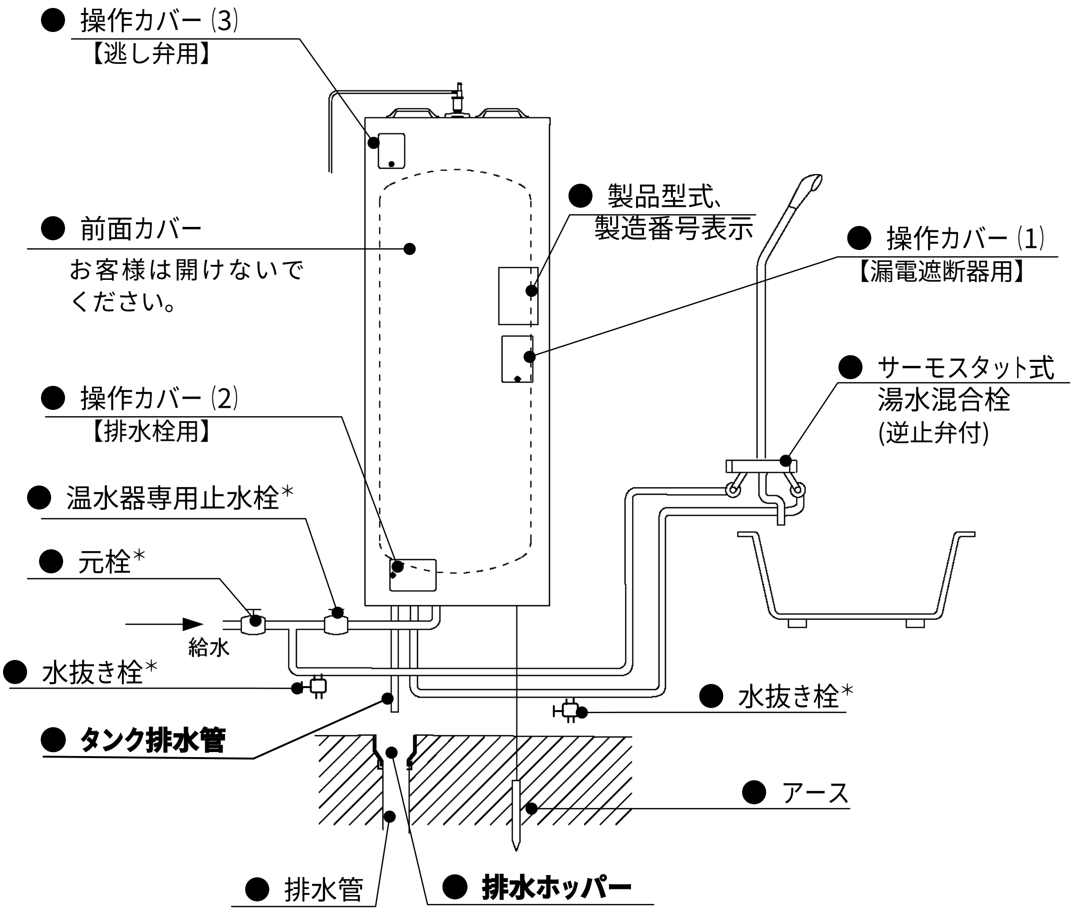
タンクの沸き上げを「日」単位で休止します。

● 自動沸き増し **設定ボタン** P13

設定すると、タンクの残湯量が少なくなると、自動で沸き増しを行います。（時間帯別契約時のみ）

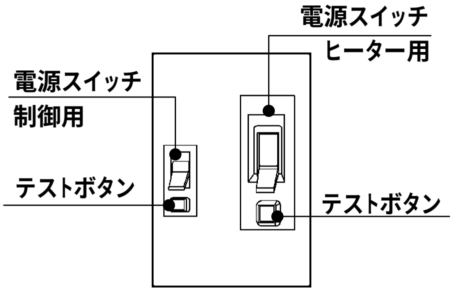
※　図は説明のため、全てを表示しています。

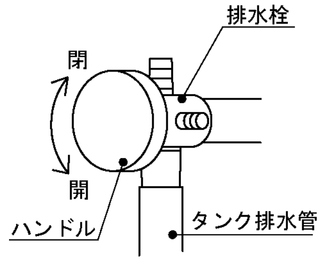
各部のなまえ（本体）

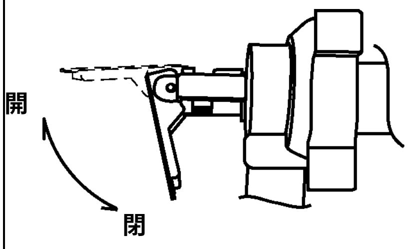


＊：取付位置は現地の施工上、本図と異なることがあります。

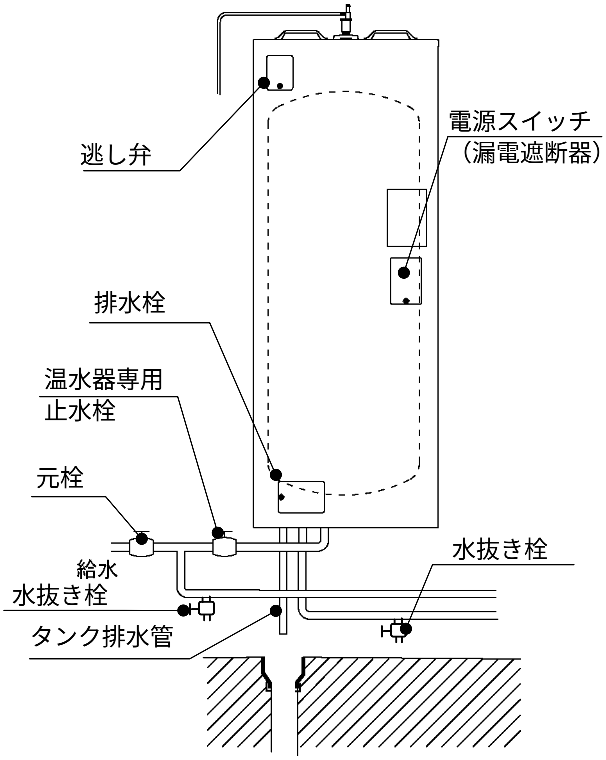
■ 操作カバー内

<table>
<tr><th>（1）漏電遮断器</th><th>（2）排水栓</th><th>（3）逃し弁</th></tr>
<tr>
<td>

電源スイッチ：
電源を「入」「切」します。
テストボタン：
漏電遮断器が正常に動作するか確認します。</td>
<td>タンクのお湯を排水するときに使用します。


※排水栓を閉めていても、タンク沸き上げ中はタンク排水管より少量の膨張水を排出します。正常な動作ですので、ハンドルを閉めすぎないようにしてください。</td>
<td>タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

</td>
</tr>
</table>

温水器使用準備



1　タンクを満水にする

① すべての湯水混合栓が閉じていることを確認する。

② 温水器の排水栓、水抜き栓を閉じる。

③ 逃し弁を開ける。 P8

④ 水道の元栓と温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れる。タンクが満水になると、タンク排水管から水が出ます。満水までの所要時間は約 30～50 分です。

⑤ 満水になったら逃し弁を閉じる。

⑥ 水道の元栓、温水器用止水栓は開いておく。

2　電源を入れる

① 200V の元電源ブレーカを「入」にする。

② 温水器の電源スイッチを「入」にする。（2 か所）

3　時刻とタンクの沸き上げ温度を設定する

① 時刻の設定 P10

② タンクの沸き上げ温度を設定する P11

必ずタンクを満水にしてから通電する

・ヒーター電源スイッチ，制御電源スイッチは、タンクが満水になるまで「入」にしないでください。

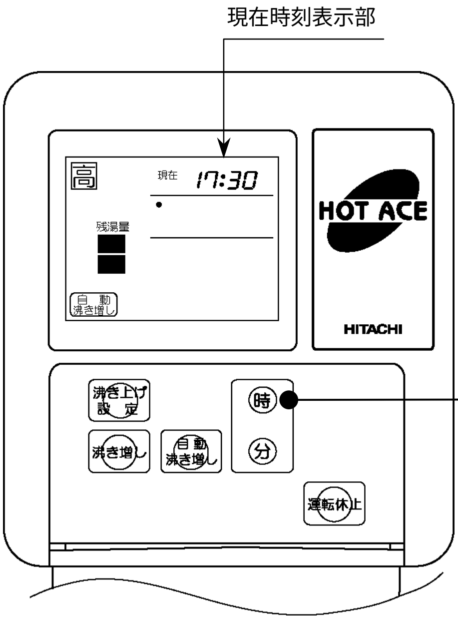
・タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

現在時刻の合わせかた

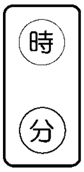
必ず現在時刻を設定してください

現在時刻を設定しないと…

- 電気料金が割高になります。（時間帯別電灯契約の場合）



1 設定開始



（時）、（分）を同時に5秒間押します。

「：」と時刻表示部が点滅し、現在時刻修正モードになります。

2 時刻を合わせる

（時）を押すごとに１時間ずつ表示部の時間が進みます。

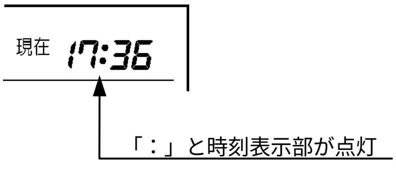
（分）を押すごとに１分ずつ表示部の分が進みます。

Point

（時）や（分）を押しつづけると、早く進みます。

3 設定完了

ボタンを押し終わって約５秒後に、「：」と時刻表示部の数字が点灯に変わり、時刻の設定が完了します。



月に一度は時刻確認を！

現在時刻は、気温の変化や停電などで変動することがあります。時刻が合っていないと、お湯を沸かすことができなかったり、料金が割高になる場合があります。月に一度は時刻の確認をしてください。

停電があったとき

停電復帰後、通常表示に復帰します。

タンク沸き上げ温度を設定する

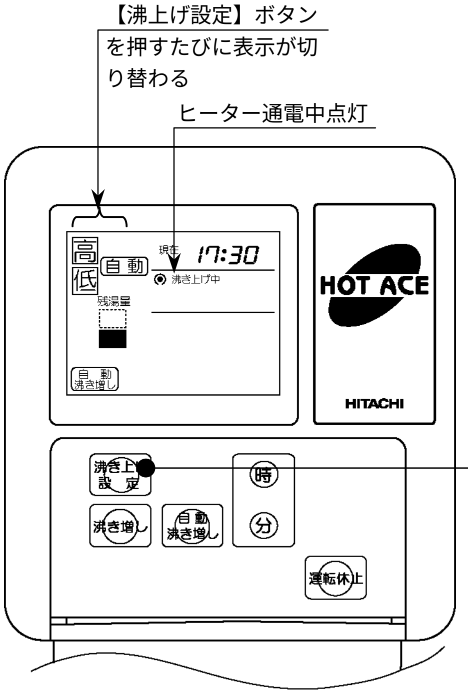
台所リモコン

タンクに貯えるお湯の温度（沸き上げ温度）を設定します。
お買い上げ時は、「高」に設定されています。

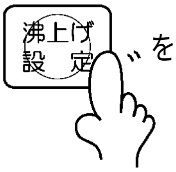
■ 沸き上げ温度のめやす

設定表示	沸き上げ温度	概　要
自動	約 65℃～85℃	お湯の使用状況に応じて沸き上げ温度を自動設定します。［自動］に設定後最初の 1 週間は、毎日のお湯の使用量を確認するため、約 85℃で沸き上げます。その後は、お湯の使用状況に応じて沸き上げ温度が自動設定されます。
高	約 85℃	高温で沸き上げるのでお湯がたくさん使えます。冬期には、「高」の設定をされることをおすすめします。
低	約 65℃	夏期など、お湯の使用量が少ない場合に適します。

※設定温度は沸き上げ完了直後のタンク内温度の目安です。時間の経過とともに少しずつ低下します。
※厳寒期や残湯量が少ないとき、および深夜時間帯にお湯をたくさん使ったときなどには、深夜時間帯の沸き上げで設定温度まで沸き上がらない場合があります。
※いずれの設定の場合も、湯切れ防止のため「自動沸き増し」を設定されることをおすすめします。 P13



1　設定開始



を押す。

ボタンを押すごとに、

自動 → 高 → 低 →（自動へ戻る）

と沸き上げ温度設定表示が切り替ります。

2　設定完了

ボタンを押し終わると設定を完了します。

ご注意

夜間時間帯の沸き上げ中に、沸き上げ温度の変更をした場合は、翌日の沸き上げから変更した設定温度で沸き上げます。

沸上げの開始（通電開始）は･･･

深夜時間帯になるとマイコンが残湯量を計算し、翌朝沸き上げ設定温度でタンク全体が沸き上がるよう通電開始時間を遅らせます（これをピークシフトといいます）。通電を開始すると、台所リモコンに「沸き上げ中」を表示します。

※　◉ 沸き上げ中　表示の左のマークは下記を示しています。
- ● は、ヒーター用電源が入っていることを示します。時間帯別契約の場合は常時点灯します。
- ○ は、時間帯別契約の場合の深夜時間帯に点灯します。

明日はお客様が…

普段、［自動］や［低］でご使用されていて、来客などでお湯をたくさん使う予定が入った場合は、前日、沸き上げが開始される前までに［高］に設定されることをおすすめします。

沸き増しの設定

台所リモコン

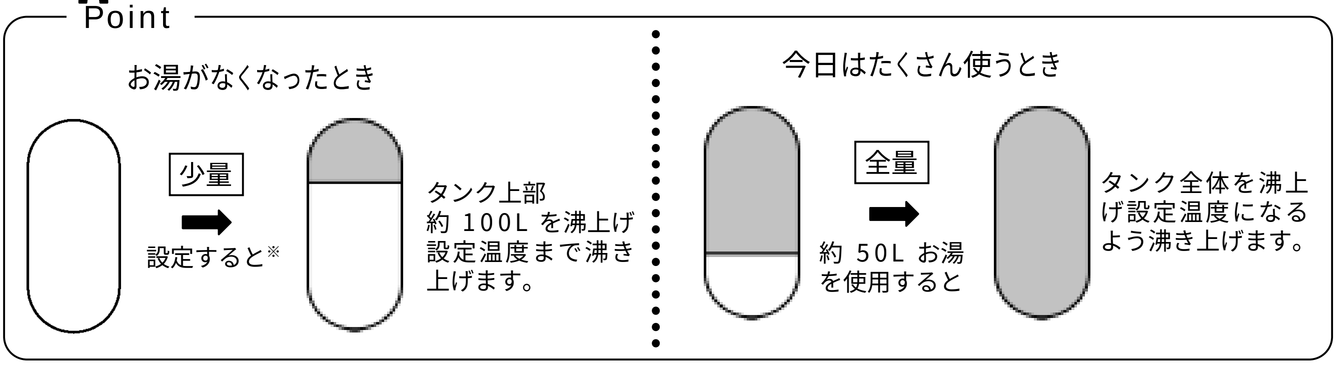
こんなとき

今日はたくさんお湯を使いたい

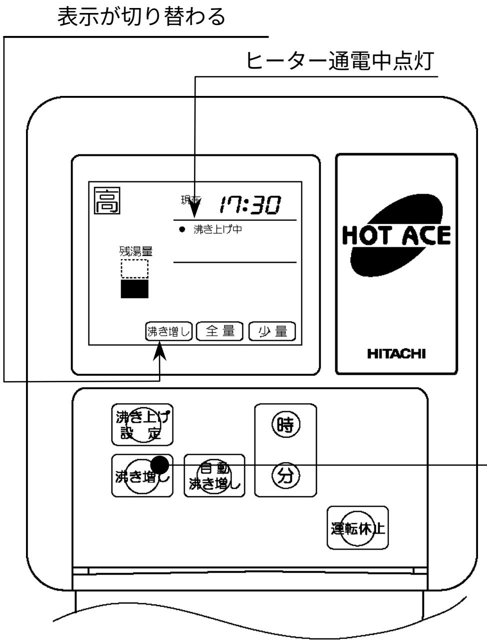
来客などでたくさんのお湯を使うとき沸き増し設定をします。お湯が減ってきたらそのつどお湯を沸き上げるのでお湯が足りなくなるのを防ぎます。沸き増しの設定は「少量」と「全量」があります。

- 時間帯別電灯契約の場合のみ使用できます。
- 昼間の電気を使用しますので電気料金が割高になります。

Point



※「沸き増し」は 「少量」 でも 30 分程度、時間がかかります。
※湯量が充分あるときは、沸き上げ動作を待機します。
※沸き上げを開始すると、台所リモコンに［沸き上げ中］を表示し、ヒーター通電中をお知らせします。



1 設定

を押す。

ボタンを押すごとに、

沸き増し 少量 → 沸き増し 全量 → 消灯（解除）→（最初に戻る）

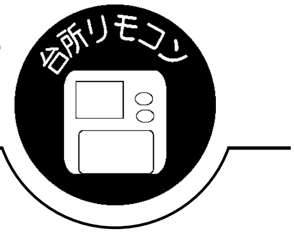
と表示が切り替わります。

沸き増し設定は翌朝自動解除

沸き増し設定は、設定日翌朝の昼間時間帯開始時刻に自動解除されます。

深夜時間帯では

- 〔全量〕を設定していた場合、自動的に〔少量〕の設定になります。〔全量〕の設定はできません。
- 時間帯別契約の場合は 21:00〜7:00（中国電力管内は 8:00）は「沸き増し（全量）」は受け付けません。

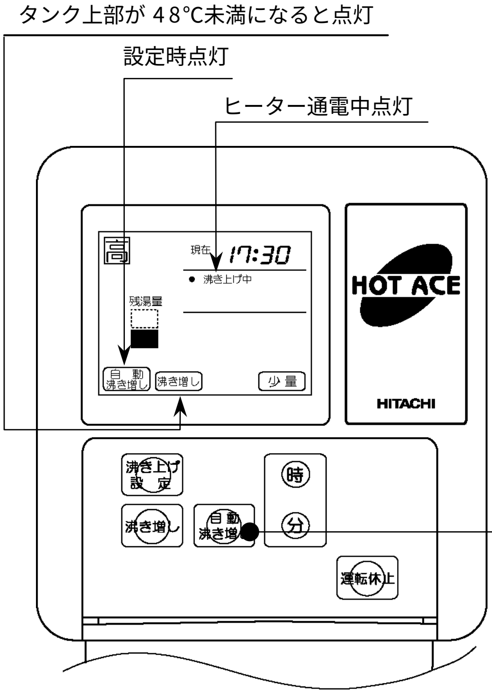


自動沸き増しの設定

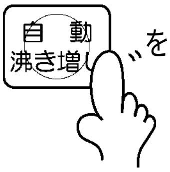
おすすめします。【自動沸き増し】設定

設定すると、お湯が減ってきたらそのつどタンク上部約 100L を沸き上げてお湯が足りなくなるのを防ぎます。時間帯別契約でご利用のお客様には、常時設定されることをおすすめします。

- 設定していても、お湯の使用量が少なければ通電しませんので無用な電気は使いません。



1 設定



を押す。

ボタンを押すごとに、

[自 動 沸き増し] → 消灯（解除）

と、表示が切り替わります。

※ **自動沸き増し設定時の台所リモコンの表示について**

タンク上部約 75L 部が約 48°Cを下回ると、[沸き増し] [少量]が点灯します。この時、[沸き上げ中] も点灯するとともにヒーターに通電し、タンク上部の沸き上げ（少量沸き増し）を開始します。タンク上部の沸き上げが終了すると [沸き上げ中] は消灯しますが、[沸き増し] [少量] は引き続き点灯して、お湯が減ると沸き上げを開始することをお知らせしています。

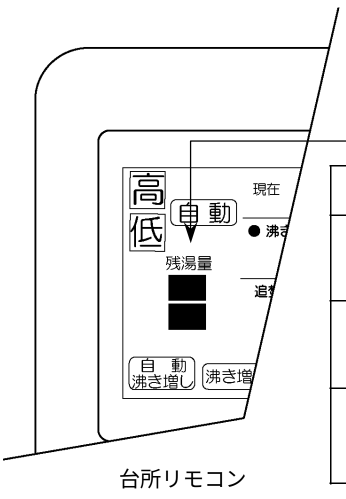
[沸き増し] [少量] の表示は翌朝昼間時間開始時に自動解除され、消灯します。

電気料金が割高になります

[沸き増し]、[自 動 沸き増し] は昼間時間帯に沸き増しするため電気料金が割高になります。

Point

タンク残湯量のみかた



■ **残湯量**

表 示	残湯量
■ ■	**タンク容量の半分以上**
□ ■	**75L～タンク容量の半分**
□ □	**75L 未満**

- お湯は残っています
  残湯量表示が消灯したあとも、約 75L のお湯が残っていますのでしばらくは給湯用としてお湯が使えます。

- タンクの湯量は…
  残湯量表示ではお湯として使用できる約 48°C以上の湯量を示します。

  [沸き増し] 設定をしている場合、残湯量があっても 48°C以上のお湯を確保するために「沸き増し」を開始することがあります。

数日間お湯を使わないとき

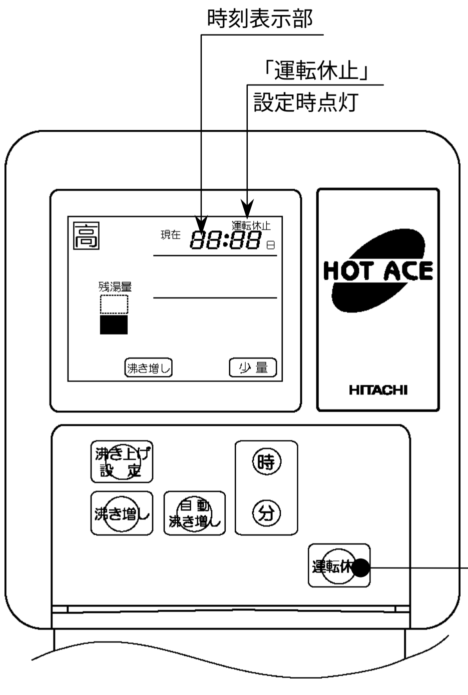
こんなとき

旅行などで数日間お湯を使用しないとき。

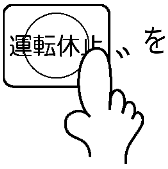
- タンクのお湯の沸き上げを停止することができます。
- 沸き上げ停止日数は 1 日～15 日まで設定できます。

Point　運転休止日数の決め方

5 月 1 日出発して 5 月 5 日帰宅する 4 泊 5 日の旅行の場合。
出発日（5 月 1 日）に運転休止日数「3 日」を設定します。
1 日～3 日は運転休止し、4 日は沸き上げを行いますので、5 日の朝からお湯が使えます。
運転休止日数の表示は 1 日ごと減ります。

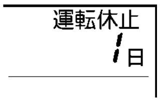


1　設定手順



を押す。

時刻表示部に「運転休止○日」と表示します。



運転休止 を押すたびに 1 日繰り上がります。

1 日 ⇒ 2 日・・・15 日 ⇒ 消灯（解除）

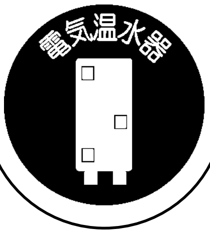
ご注意

・運転休止を設定される場合は必ず 沸き増し の表示を消してください。
運転休止中に 沸き増し を設定すると、ヒーターへ通電します。
（沸き増しの操作方法は P12 を参照してください。）
・冬期、凍結のおそれがある場合は、運転休止の設定はしないでください。
・運転休止中は「運転休止○日」を表示し、運転休止が終了すれば、「運転休止○日」が消え、現在時刻が表示されます。

運転休止の解除は

設定完了後に 運転休止 を押すと運転休止を解除します。

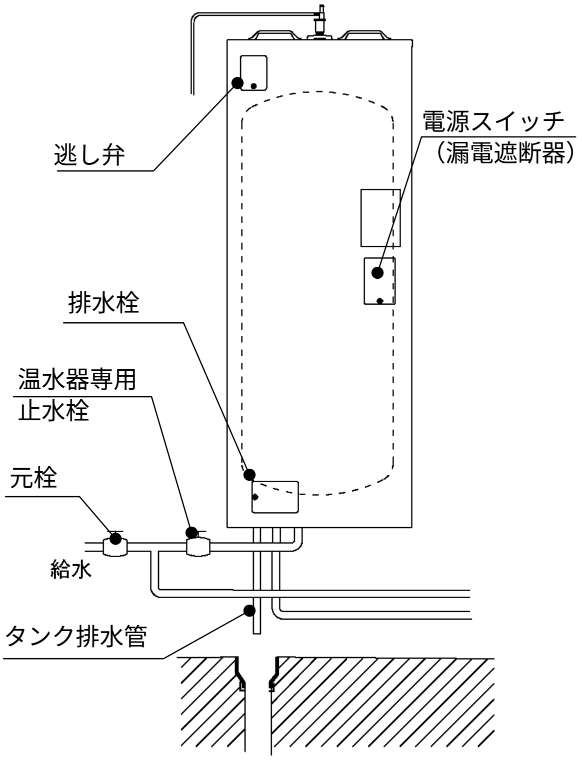
1か月以上使用しないとき



タンクの排水のしかた

１か月以上、温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
なお、凍結のおそれがある場合は、お買い上げの販売店、工事店に依頼をして完全な水抜きを行ってください。本ページの水抜きでは配管に水が残り、凍結を防止できません。

Point
タンクの排水には約２時間前後かかります。



1 台所などの湯水混合栓を開く

・沸き増し、自動沸き増しの設定を解除します。
・熱いお湯が出なくなるまでお湯を出した後、湯水混合栓を閉じます。
タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 漏電遮断器の電源スイッチを切る

漏電遮断器の電源スイッチ（2 個）を「切」にします。

3 温水器専用止水栓を閉じる

4 逃し弁のレバーを上げる（弁を開く）

タンクへ空気を入れ、排水できるようにします。

5 排水栓を開く

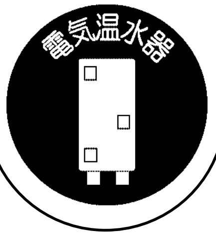
タンク内の水を抜きます。
排水ホッパーから水があふれないよう排水栓のハンドルを調節します。

6 排水栓を閉じる

7 逃し弁のレバーを下げる（弁を閉じる）

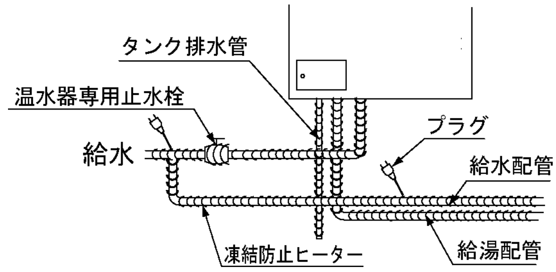
再び使用するとき

- 再び使用するときは「温水器使用準備」 P9 の手順を行ってください。



凍結防止について

各配管に保温工事がしてあっても、温水器周囲温度が 0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。
寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、据付工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。



1　凍結防止ヒーターを使う

① 凍結防止ヒーターが左図のように、巻かれていることを確認します。

② 使用時はすべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はプラグをコンセントから抜いておきます。

2　混合水栓を少し開いておく

各混合水栓の水側を開け、わずかに水が出るように調節します。

凍結した場合の処置

湯水混合栓の湯側を開いても、お湯（水）が出ないなど、配管が凍結したと思われる現象が出たときは、温水器専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

日常のお手入れと点検

長く、安全にご使用いただくためお手入れと点検を行ってください。

1 日常のお手入れ

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れが落ちにくいときは、水に濡らした布を固く絞って拭き取ってください。
ベンジン・シンナーなどは、リモコンの変形や変色の原因になりますので使用しないでください。

■温水器表面のお手入れ

汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめてふくませ軽く絞ってふいてください。
洗剤使用後は、布をよく水洗いし固く絞って洗剤をふきとってください。
シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。

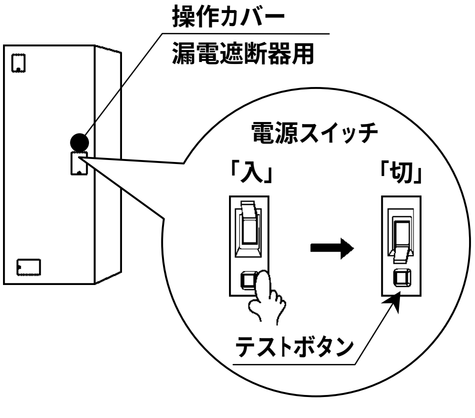
2 月に 1 度のお手入れと点検

■ 時刻の確認

リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。 P10

■ 漏電遮断器の点検

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
漏電遮断器用操作カバー内に漏電遮断器が２つありますので、それぞれ動作確認をしてください。
深夜電力契約でご使用いただいている場合は、深夜時間帯に行ってください。時間帯別電灯でご契約の場合は、いつでも点検できます。



⚠ 警告

漏電遮断器の動作確認をする。
故障のまま使用すると感電することがあります。

①テストボタンを押す。
　電源スイッチが「入」→「切」になれば正常です。
②電源スイッチを「入」に戻します。

テストボタンを押しても「切」にならない場合は、電源ブレーカまたは電源スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

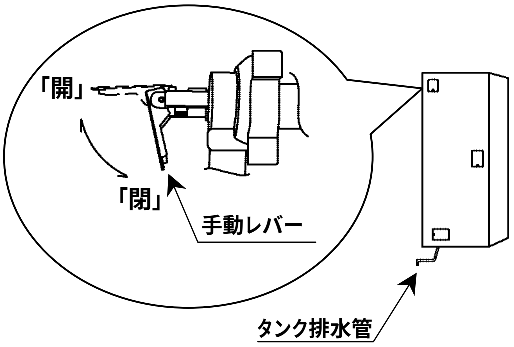
■ 逃し弁の点検

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出しタンク内が高圧になるのを防ぎます。逃し弁の点検は、沸き上げ時(台所リモコンに「沸き上げ中」が点灯)に行わないでください。

⚠ 警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。
手を触れるとやけどをすることがあります。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。点検時は、転倒しないように注意してください。



①タンク排水管からお湯(水)が出ていないことを確認する。
②逃し弁のレバーを上げて、タンク排水管からお湯(水)が出ることを確認する。
③逃し弁のレバーを下げてお湯(水)が止まることを確認する。お湯(水)が止まらないときは、レバーを２～３度上げ下げしてください。

レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯(水)が出ない場合や、レバーが下がっているのにお湯(水)がでる場合は、弁類の故障が考えられます。
電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

・点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げてください。
・沸き上げ中は、タンク排水管から少量のお湯（膨張水）を排水します。排水栓を強く締めないでください。

■ 配管の点検

温水器の周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。
特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから水がでていないことを確認してください。

■ タンクのそうじ

使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。
タンクのそうじは、沸き上げ時(台所リモコンに「沸き上げ中」が点灯)に行わないでください。

①温水器専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げます。
②排水栓を開けて約２分間排水してください。
③排水栓を閉じ、温水器専用止水栓を開けます。
④タンク排水管から湯（逃し弁からの湯）がでてきたら、逃し弁のレバーを下げます。
⑤タンク排水管から湯が出ないことを確認してください。湯が止まらない場合は逃し弁のレバーを 2～3 度上げ下げしてください。

⚠ 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない。
やけどをすることがあります。

逃し弁のレバー、温水器専用止水栓、排水栓の位置は P8 を参考にしてください。

また、半年に 1 回「タンクの排水のしかた」P15、「温水器使用準備」P9 に従ってタンクの排水、給水を行ってください。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、3〜4 年に 1 度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 3〜4 年に 1 回程度をおすすめします。
定期点検につきましては、お買い上げの販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項　目	内　容
据付状態の点検	・設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ・配管、その他の保温状態の点検 ・電気絶縁の点検
機能部品の点検	・電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ・弁類（減圧弁、逃し弁）の点検
清掃	・タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ・減圧弁ストレーナの清掃

＜消耗部品（有料）について＞
逃し弁、減圧弁、パッキン類、ゴムホース、ヒーター、センサー類、オートベント（別売品）は、消耗部品です。上記部品の交換時は、当社純正部品と交換ください。

停電のとき

停電復帰時、時刻がずれたり台所リモコンの設定が変わる場合がありますので、設定内容を確認してください。

- 停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。ご使用の状態に合わせて再設定してください。

項　目	リモコン設定値	説明ページ
沸き上げ設定	停電前の設定	11
沸き増し	停電前の設定	12
自動沸き増し	停電前の設定	13
時刻	時刻がずれている場合があります。	10
運転休止	停電前の設定。停電が長時間の場合、運転開始日が遅れることがあります。	14

- 時間帯別電灯契約でご使用の場合
  リモコンの時刻表示が夜間時間帯に再通電した場合、すぐに沸き上げを開始します。
- 深夜電力契約でご使用の場合
  夜間時間帯に再通電した場合、すぐに沸き上げを開始します。
- 停電復帰時刻によっては、充分沸き上がらないことがあります。時間帯別電灯契約でご利用の場合は、「沸き増し」を実施してください。
- 停電中も、タンクに残っているお湯は湯水混合栓を開くと使用できます。

お願い

停電復帰時は、必ず台所リモコンの時刻を確認してください。
時刻がずれている場合は、時刻合わせをしてください。
時刻がずれていると、沸き上げが不十分になったり、電気料金が割高になることがあります。

断水のとき

断水や近くで水道工事が行われるときは、温水器専用止水栓と全ての湯水混合栓を閉じてください。（お湯は使えません）温水器専用止水栓を閉じないと、タンクや配管内ににごった水が入ったり、逆流して温水器が故障する場合があります。また、温水器専用止水栓や湯水混合栓などが開いていると、再度送水されたときに混合栓から湯(水)が出てしまいます。

断水終了後は、湯水混合栓の水側のみを開き、水の汚れがなくなるまで水を出してから、温水器専用止水栓を開いてください。

点検表示のみかたと処置

点検が必要な状況になった場合、台所リモコンの時刻表示部に記号が表示されます。
下記表による処置をしてください。

現在 Er 02

記号	内容・症状	処理
Er 01 Er 02 Er 03	温度センサーが故障しています。	販売店にご連絡ください。
Er 04	タンク内に水がありません。	タンクを満水にしてください。 P9
Er 08	タンク内が異常加熱しています。	電源スイッチを「切」にして販売店にご連絡ください。
Er 09	電力が供給されていません。 200V 元電源、または本体漏電遮断器の電源スイッチが「切」になっています。	200V 元電源、本体漏電遮断器の電源スイッチを「入」にしてください。「入」にしても「切」になる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 P8
Er 10	タンク内に水がありません。	温水器専用止水栓を開けてください。 タンクを満水にしてください。
Er 11	台所リモコンの通信不良です。	お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かなと思ったら

こんなときは調べてみましょう

症　　状	原　　因	処　　置
リモコンの表示部が消えている （電源が入らない）	200V 電源ブレーカーが「切」になっている	電源ブレーカーを「入」にしてください。
	温水器の制御用電源スイッチが「切」になっている	制御用電源スイッチを「入」にしてください。再度「切」になる場合は、「切」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまで待ってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	温水器専用止水栓が閉じている	温水器専用止水栓を開いてください。
	断水している／給水圧が低い	断水が終わるのを待ってください。
	配管が凍結している	お買い上げの販売店へご連絡ください。
お湯がぬるい お湯が足りない(残湯量の表示が消えている)	運転休止の設定になっている。(台所リモコンに「運転休止」の表示がある)	・運転休止を解除してください。 ・沸き増しをしてください。
	沸き上げ温度の設定が低い	沸き上げ温度の設定を高くしてください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 深夜時間帯に湯はりなど大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。〔自動沸き増し〕を設定してください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ温度設定を「高」にし、〔自動沸き増し〕の設定をしてください。
タンク排水管から水が出ている	沸き上げ中に膨張水の排出を行っている	沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排水します。通常一晩で 10Ｌ～20Ｌ排水するのが正常です。
	逃し弁など弁類の故障です	逃し弁の点検を行なってください。 P18

こんなときは故障ではありません

■ タンク排水管からお湯が出ている

沸き上げ中(台所リモコンに「沸き上げ中」を表示しているとき)は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。正常な動作です。ただし、沸き上げ中でないときに、お湯や水が出る場合は弁類の故障が考えられますので点検してください。

■ 夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない

給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■ お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■ 浴そうのお湯が青く見える

光の波長や、浴そうの色によって浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが異常ではありません。

■ お湯から油がでる、お湯が臭い

お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

仕様

		仕	様	
型式名		BE-Z37BWU	BE-Z46BWU	BE-Z56BWU
用途		戸建住宅用		
設置場所		屋外･屋内兼用タイプ		
外形寸法	高さ	1846mm	2176mm	
	幅	625mm		685mm
	奥行	730mm		790mm
最高使用圧力		0.17MPa		
電源	時間帯別電灯※1	単相 200V, 50/60Hz (ヒーター･制御用)		
	深夜電力※2	単相 200V, 50/60Hz (ヒーター用)		
	昼間電力※2	単相 200V, 50/60Hz (制御用)		
消費電力	ヒーター用	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	制御用	約 7W		
タンク容量		370L	460L	560L
沸き上げ温度		高:約 85℃ ／ 低:約 65℃ ／ 自動:約 65～85℃		
質量	製品	66 kg	76 kg	87 kg
	満水時	436 kg	536 kg	647 kg

愛情点検 長年ご使用の電気温水器の点検を！

こんな症状はありませんか？		ご使用中止	
	• 本体設置場所がいつもぬれている • 時々漏電遮断器が『切』になる • お湯が早くなくなる • その他の異常や故障がある	▶	故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、温水器専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

■ 保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書、明細書なども保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、お買い上げいただいた日から 1 年です。（タンクは５年です。）

■ 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は製造打切後 8 年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 不明点や修理に関するご相談は

お買い上げ販売店または右記のサービスエンジニアリングセンタにご連絡ください。

■ 修理を依頼されるときは

- 販売店またはサービスエンジニアリングセンタへ下記を連絡ください。

1. 型式名（保証書に記載）
2. 故障の状況
3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4. 販売店名

- 修理料金
保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

ご購入年月日	年　　月　　日
販売店	
	電話番号

■ 空調修理コールセンタ

東日本修理コールセンタ　(0120)649-020
〒135-0016
東京都江東区東陽 5-29-17（住友不動産東陽ビル）

西日本修理コールセンタ　(0120)649-020
〒532-0022
大阪市淀川区野中南 2-11-27

■ 技術相談センタ

技術相談センタ　(0120)578-011
〒424-0926
静岡市清水区村松 390 番地

■ サービスエンジニアリングセンタ

北海道　(011)717-5146
〒060-0809
札幌市北区北 9 条西 3-10-1（小田ビル 8 階）

東北　(022)225-5972
〒980-0065
仙台市青葉区土樋 1-1-11

東京　(03)3649-3811
〒135-0016
東京都江東区東陽 5-29-17（住友不動産東陽ビル）

北陸　(076)429-6861
〒939-8214
富山市黒崎 627-3

中部　(0568)72-0131
〒485-0072
小牧市元町 4-66

関西　(06)6303-6159
〒532-0022
大阪市淀川区野中南 2-11-27

中国　(082)283-9374
〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰 1-9-20

四国　(087)833-8701
〒760-0072
高松市花園町 1-1-5（花園ビル）

九州　(092)561-4854
〒815-0031
福岡市南区清水 4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

・お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

日立アプライアンス株式会社　空調事業部

〒105-0022　東京都港区海岸一丁目 16 番 1 号（ニューピア竹芝サウスタワー）